

川島重成先生と行くオンライン・ギリシア旅行 ご案内

私たちは現在、国際基督教大学名誉教授 川島重成先生がギリシアを旅した折々に撮影した写真を電子情報化してウェブ上で公開しようという企画を進めています。

川島先生がギリシア地誌学者ヴァンダプール教授とともにギリシア各地の遺跡を巡ったのが1967年。先生の教育的情熱の発露である「ギリシア旅行」を始めたのが、1983年3月。新型コロナ・ウイルスに追われるように周遊した（今のところ）最後の旅行が、2020年3月。この間じつに半世紀！しかも、他の団体ツアーとは比ぶべくもないこの旅行で訪れる場所の選択には先生独自の着眼が働いていました。このように年月と情熱を注いで訪れたギリシアおよび地中海世界各地で撮った写真はおよそ一万枚。その中から厳選し編集しつつある写真集成 *Corpus Photographiarum Shigenarianarum*（通称 CPS）は、ギリシアについて学び、ギリシアを旅する誰にとっても、価値あるアーカイヴとなることは間違いありません。「永き研鑽と大いなる愛」（ダンテ）の結晶だからです。

この CPS を編集する作業の過程で、オンライン版ギリシア旅行を企画し、「川島先生と行くギリシア旅行」を待ち望んでいる人やギリシアについて学びたい人に広く提供しようということになりました。川島先生の著書『ギリシア旅行案内（同時代ライブラリー）』（岩波書店1995年）には76枚の写真が、その増補改訂版である『ギリシア紀行一歴史・宗教・文学（岩波現代文庫）』（岩波書店2001）には、88枚の写真が掲載されていますが、今回のオンライン旅行では、じつに150枚以上が（それもカラーで）、川島先生の解説と共に堪能いただけます。ギリシアのそれぞれのトポス（場所）、そこにまつわる神話、出土した壁画・彫刻・壺などについて、ギリシア文明史全体との関連で先生ほどの的確に語る人はいません。それだけではありません。『ギリシア旅行案内』の1枚目の写真は古代のアテネ女神の浮き彫りの写真、2枚目の写真は現代の「復活祭」（庭で羊肉を焼いている）の写真です。この選択は、先生のギリシアへの関心が古代から現代にまで及ぶだけでなく、ヘレニズム（ギリシア・ローマ文化）のみならずヘブライズム（ユダヤ・キリスト教的伝統）をも包含していることを象徴的に示しています。余人の追随を許さぬ川島先生の独擅場と言えましょう。

今回のオンラインギリシア旅行（第1回）は、ギリシアの風土、最も代表的な遺跡・文化遺産などを紹介しつつ、ギリシア文明の大まかな流れが把握できるよう編集されています。通常ならば14日間のツアーが春の一日に午後だけで、しかも歩かないで経験できますので、ふるってご参加ください。

記

日時 2022年4月30日(土) 14時～16時30分(途中15分の休憩あり)

司会 佐野 好則

案内役 川島 重成

申込み 下記アドレスまたはQRコードからお申し込みいただけます。

<https://forms.gle/wns2DawPMScHJuMi6>

前日までにアクセス情報をお送りします。事前にアクセスの試行をお願いいたします(今回はご参加頂けなくても、2回目以降のご案内をご希望の方も、メールアドレス等のご登録をお願いいたします)。



- 川島先生と行くオンライン・ギリシア旅行は、少なくとも全5回シリーズを予定しています。次回以降、ふつうのツアーでは行きにくいギリシアの辺境や、トルコ・南イタリア・シチリア島の遺跡、パウロの足跡なども訪れる予定です。
- このCPSの企画を推進するために資金が必要です。「川島先生と行くギリシア旅行」を愛した人たち、あるいは応援して下さる人たちのポケット・マネーでのご支援は大歓迎です。オンライン旅行への参加と資金援助は基本的には無関係ですが、資金援助の志のある方には、一口1000円を(何口でも、あるいは何度でも)、下記の口座に振り込んでいただけますと、今後のオンライン旅行の準備・編集、そしてCPSのアーカイヴ化に向けて、「朝、種を蒔け、夜にも手を休めるな。実を結ぶのはあれかこれか それとも両方なのか、分からないのだから」(コヘレトの言葉 11:6) という気概で仕事をすすめている委員会やそのメンバーにとって、実質的支援のみならず何ものにも代えがたい励みになります。ご一考いただければ幸甚です(学生諸君はその限りではありません)。

お振り込み先 (振込手数料のご負担をお願いいたします)

三井住友銀行 国分寺支店 普通 2399555

上野薫 (ウエノカオル)

2022年4月14日

佐野 好則

小林 (上野) 薫

cps.cps2022@gmail.com